スモール・ミーティング

(2021年3月期 第1四半期の状況)

説明者 代表取締役頭取 深井 彰彦

2020年8月5日



目次

1.	損益状況	P. 1
2.	貸出金の状況	P. 2
3.	非金利業務利益の状況	P. 3
4.	有価証券の状況	P. 4
5.	与信費用の状況	P. 5



1. 損益状況

与信費用増加するも、純投資有価証券売却益を積上げ。最終利益は計画ライン。

■連結 (単位:億円)

	No.	第1Q 19/6期	第1Q 20/6期	前年 同期比	上期計画 進捗率	上期計画 20/9期	年間計画 21/3期
コア業務粗利益	1	231	227	▲ 4	56.2%	404	832
うち非金利業務利益	2	45	46	1	60.6%	77	176
経常利益	3	114	69	▲ 45	54.5%	127	285
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	4	83	54	▲ 28	(57.8%)	95	205

■単体 (単位:億円)

		No.	第1Q 19/6期	第1Q 20/6期	前年 同期比	上期計画進捗率	上期計画 20/9期	年間計画 21/3期
コァ	7業務粗利益	1	217	212	▲ 4	56.4%	377	772
j	資金利益	2	186	181	▲ 5	55.2%	328	657
	うち投信解約損益	3	2	(10)	8	_	_	13
3	非 <u>金利業務利益</u>	4	30	31	0	64.4%	48	114
	役務取引等利益	5	29	30	1	66.4%	46	106
	その他業務利益	6	1	0	▲ 0	29.7%	2	8
経	貴	7	144	139	▲ 4	(50.4%)	277	545
그건	⁷ 業務純益	8	73	72	▲ 0	72.7%	100	227
<u></u> 1	投信解約損益除き	9	70	62	▲ 8	62.1%	100	214
有值	西証券関係損益	10	43	(49)	6	105.1%	47	95
与作	言費用	11	10	(54)	43	256.6%	21	50
70	の他	12	A 0	A 5	4	_	▲ 11	▲ 21
3	うち退職給付費用	13	0	4	4	50.0%	9	19
経常	常利益	14	105	63	▲ 41	55.2%	115	250
法人	人税等	15	27	12	▲ 15	38.0%	31	69
当其	朝(四半期)純利益	16	77	51	▲ 26	(60.0%)	85	180

<ポイント>

【連結】

- ・非金利業務利益は、上期計画進捗率60.6%と高進捗(前年同期比で+1億円)。⇒3ページ
- 最終利益は、計画ライン(進捗率57.8%)で着地。

【単体】

- 資金利益は前倒しで解約益を確保。
- ・経費の進捗率は50.4%。 前年同期比では物件費▲3億円、 税金▲1億円。
- ・有価証券関係損益 ⇒ 4ページ ⇒国債等債券売却損益 26億円 株式等売却損益 23億円
- ・与信費用 ⇒ 5ページ
 - ⇒大口先のランクダウンによる一般 貸引の増加を主因に54億円。
- ・四半期純利益は、上期計画85億 円に対し、進捗率60.0%の51億円。

2. 貸出金の状況

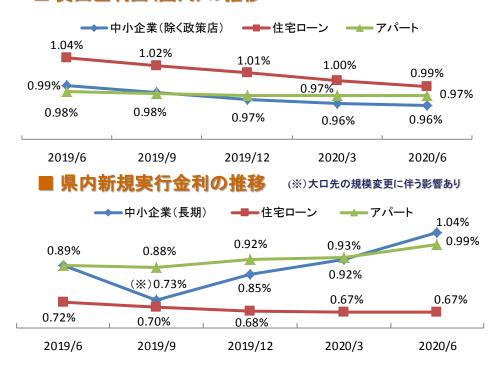
■貸出金の内訳

(単位:億円)

		_		
	20/3末	20/6末	20/3	末比
			増減額	増減率
貸出金	56,023	56,698	675	1.2
リテール	45,505	45,773	267	0.5
中小企業(*1)	22,358	22,705	347	1.5
個人	23,147	23,067	▲ 80	▲ 0.3
うち住宅ローン	13,124	13,112	▲ 11	▲ 0.1
うちアパートローン	6,514	6,490	▲ 24	▲ 0.3
うち無担保ローン	546	540	▲ 6	▲ 1.1
その他	9,123	9,498	375	4.1
クロスボーダー	1,053	1,049	▲ 3	▲ 0.3
ストラクチャート・ファイナンス	180	202	22	12.6
国内大·中堅企業	6,619	6,942	323	4.8
その他(*2)	1,270	1,303	32	2.5
海外店	542	531	▲ 10	▲ 1.9
公共	851	894	43	5.0
※「由小企業」(*1)にけ地方公計 恵	古古作。大阪3	ち庁助守を今々	カボ その他(* 3)に区分

※「中小企業」(*1)には地方公社、果泉文店・大阪文店勘定を含めず、その他(*2)に区分。

■ 貸出金利回(国内)の推移

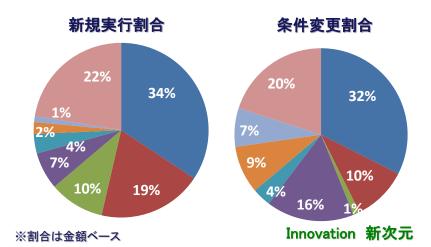


■ 新型コロナウイルス関連融資申込状況

(6日20日租左)

				(6月30日現在)
1	相談	案件 受付済	融	資 実 行
新規融資	16,004先	7,464件	融資先 4,946先 プロパー 保証協会	5,726件 2,074億円 703件 946億円 5,023件 1,127億円
条件変更	589先	489件	融 <mark>資先 452先</mark> プロパー 保証協会	1,231件 442億円 689件 367億円 542件 74億円





■ 非金利業務利益(連結)

(単位:億円)

		19/6期	20/6期	前年同期比	上期計画 進捗率	20/9期 計画	21/3期 計画
連結	非金利業務利益	44.9	46.4	(1.5	61%	77	176
A.	法人役務関連	3.8	1.9	▲ 1.9	(26%)	8	31
	シ・ローン	0.8	0.1	▲ 0.7	14%	1	6
	私募債	0.3	0.1	▲ 0.2	34%	1	2
	法人向け事業保険	0.0	0.1	0.1	72%	0	1
	M&A	0.9	0.0	▲ 0.9	1%	1	5
	ビジネスマッチング	0.5	0.3	▲ 0.2	38%	1	5
	コベナンツ融資・短期継続融資	0.1	0.4	0.3	43%	1	4
	デリバティブ(金利・為替)	0.7	0.2	▲ 0.5	15%	2	6
	ぐんぎん証券(法人向け)他	0.3	0.3	0.0	<u>58</u> %	1	3
В.	預かり金融資産関連	12.7	10.1	▲ 2.6	53%	19	57
	投信取扱手数料	5.0	4.4	▲ 0.6	46%	10	25
	保険販売手数料(個人)	4.1	1.8	▲ 2.3	43%	4	15
	ぐんぎん証券(個人向け)他	3.5	(3.8)	0.3	74%	5	17
C.	その他	28.2	34.3	6.1	69%	50	87
	団信配当金	9.0	16.6	7.6	115%	15	15
	基盤役務(内国為替、代理事務等)	21.1	21.0	▲ 0.1	51%	41	84
	ローン保証料	▲ 16.0	▲ 16.6	▲ 0.6	50%	▲ 33	▲ 66
	ぐんぎんリース	6.5	6.7	0.2	51 %	13	27
	群馬信用保証	6.3	6.3	0.0	49%	13	26
	その他	1.2	0.1	<u>▲ 1.1</u>	14%	1	2

- ・非金利業務利益全体では、前年同期比+1.5億円、上期計画進捗率61%の46億円。
- ・事業法人には当面の資金繰り対応 を優先し、進捗率は26%。
- ・コロナ禍で高まる事業承継やM&A ニーズの取り込みに加え、将来を見 据えた資金繰り改善ニーズに対して はシ・ローンやコベナンツ融資で対 応する。

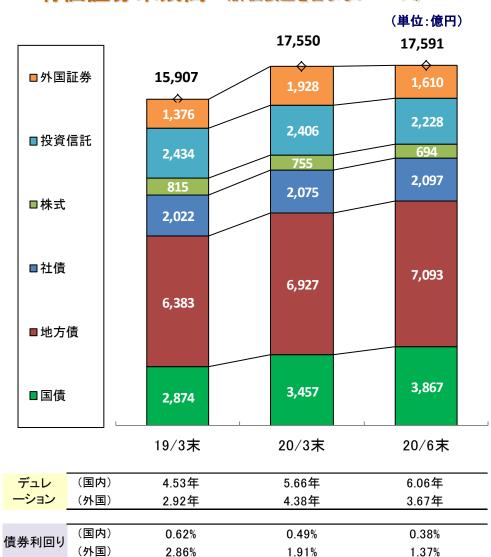
(4~6月の取組状況)

事業承継支援件数 260件 コペナンツ融資実行額 8件/27億円

- 預かり金融資産関連は、ぐんぎん証券を主因に計画水準(53%)。
- •相続関連業務 (4~6月)新規成約 遺言信託 15件(前期年間実績 61件) 遺産整理 7件(前期年間実績 10件)
- ・団信配当金が前年同期比+7.6億円。
- ・ぐんぎんリースと群馬信用保証も ほぼ計画どおり。

4. 有価証券の状況

■ 有価証券末残高 (評価損益を含まないベース)



■ 有価証券評価損益(滿期保有を除ぐ)

(単位:億円)

	19/3末	20/3末	20/6末	増減
外国証券	25	▲6	40	46
投資信託他	55	▲203	▲101	102
株式	852	570	684	113
政策投資	803	563	686	(122)
純投資	49	7	▲2	▲ 9
債券	176	78	67	▲10
国債	58	8	6	▲ 1
地方債	94	59	51	▲ 7
社債	23	11	9	▲ 1
合計	1,110	438	690	(251)

■ 売却損益

(単位:億円)

	19/6期	20/6期	
	19/0舟	20/0期	増減
有価証券関係損益	43	49	6
債券関係損益	5	26	21
株式等関係損益	38	23	▲ 14
株式等売却損益	39	23	▲ 15
純投資	8	23	15
政策投資	30	_	▲ 30
株式等償却(▲)	1	0	▲ 1
投信解約損益	2	10	8
合計	45	60	15

5. 与信費用の状況

■ 与信費用の推移と内訳(単体)

		18/3期	19/3期	20/3期
1	与信費用	23	79	43
	一般貸倒引当金純繰入額	▲ 10	3	▲ 11
	不良債権処理額	34	76	54
	償却債権取立益(▲)	0	0	0
2	貸出金(平残)	53,328	54,913	55,231
与	信費用比率 (=①/②)	0.04	0.14	0.08

(<u></u> 単位:億円)	1
20/6期	
54	
44	
9	
0	
56,082	
0.39	

		18/3期	19/3期	20/3期
与	信費用	23	79	43
	引当率変動要因	A 9	4	5
	その他の要因	32	75	48
	DCF	▲ 3	▲ 3	▲ 14
	ランクダウン	49	97	90
	回収・ランクアップ他	▲ 14	▲ 19	▲ 28

20/6期	
54	
-	
54	
33	
24	
▲ 3	

■ 貸倒引当金の引当率

(単位:%)

			(-				<u>、平以、70/</u>	
			引当対象	期間	18/3期	19/3期	20/3期	20/6期
正常先		債権全額	1年	0.044	0.070	0.071		
その他 要注意先	実抜計画先 でない先	区分1	"	3年	1.038	0.992	0.957	同左
	実抜計画先	区分2	//	3年	7.200	6.664	6.271	
要管理先		四万乙	"	34	7.200	0.004	0.271	
破綻懸念先Ⅲ分類		非保全額	3年	37.470	34.668	32.950		

■ 要因分析

(単位:億円)

一般貨	資 倒引当金		44
	コナ(ランクダウン)	1	
そ	の他		37
	うちDCF	2	(33)
	うち賃貸不動産	3	(3)
不良債	権処理額		9
	コナ		5
	突発破綻		4
	破懸約弁減少		1
ラ:	ンクダウン		8
回	収ランクアッフ゜他		4
与信事	開		54
うち	5コロナ	4	(13)

- ① 資金繰り支援(条件変更)は1Qがピーク。 2Q以降は減少を見込む。
- ② DCFは大口先の影響もあり大幅増加。
- ③ 延滞等はないが、予防的に引当を実施。
- ④ 1Qの新型コロナの影響は13億円。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。 こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、 リスクや不確実性を内包するものです。 将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる 可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問合せ先 株式会社群馬銀行 総合企画部 経営管理室(IR担当) TEL 027-254-7055、7051